

PRP の採血における貼付用局所麻酔剤とリドカイン・プロピトカイン剤の Visual Analogue Scale(VAS) 値比較検討

○鈴木 正史, 辻野 哲弘, 大場 英典, 奥寺 俊允, 奥寺 元
一般社団法人 東京形成歯科研究会

Visual Analogue Scale(VAS) of Local topical anesthetic & Lidocaine Propitocaine

○SUZUKI M, TSUJINO T, OBA H, OKUDERA T, OKUDERA H
Tokyo Plastic Dental Society

I 目的： 新法律再生法の第三種に PRP・PRF・PRGF 等の血液臨床再生材料として平成 14 年 11 月に省令化をされ、日常の臨床に注目されている。血液臨床再生材料製作においては、採血が基本動作として行われなければならない。外来静脈注射や採血は積極的に歯科診療には行われてこない現状があり、採血時の患者側の痛みの恐怖心も相成り術者も抵抗があり、結果的には再生法が前進されないこともある。血液再生臨床応用の採血は 18G の太い針の為に、疼痛緩和が不可欠のことに成る。販売されている、注射貼付用局所麻酔剤リドカイン・テープ剤マルホ(株)ペンレス[®] テープ応用とリドカイン・プロピトカイン剤佐藤製薬(株)エラクリーム[®] を Visual Analogue Scale (以下,VAS という) 法により疼痛の比較検討をした。

II 材料および方法： 同意を受けた歯科医師と患者を対象として、通常採血 18G 針を使用し注射外用局所麻酔剤ペンレス[®] テープ、リドカイン 18mg テープ付とエラクリーム[®] をリドカイン 25mg・プロピトカイン 25mg 軟膏含有エラクリーム[®] を採血前に貼付し、採血時の痛み度合を測定する VAS 法により比較測定をした。これらの研究は後戻り研究として VAS 値を比較検討したものであり東京形成歯科研究会倫理委員会の承認を受け非利益相反である。

III 結果： 年齢 38 歳から 71 歳、平均年齢 55 歳男性を対象にペンレス[®] 未使用者の 11 名の VAS 値は最大値で 7.5 で最少値は 3.9 で平均値は 6.23 であった。また使用者 11 名は最大値で 1.4 で平均値は 0.58 であった。またその T-TEST 検定では $P=0.046$ で $P<0.05$ から有意な差の結果であった。

13 名のエムラクリーム[®] 未使用者の VAS 値の平均値は 6.0 で使用者は 1.3 であった。コントロールと $P<0.05$ で有意の差があった。麻酔剤両社には有意の差がなかった。

IV 考察および結論： 採血時の患者側の痛みの恐怖心も相成り術者も抵抗があった。結果的には再生法が前進されない現状を踏まえて本研究の痛みの度合いを把握することは意義深かった。販売されているペンレステープ[®] とエムラクリーム[®] 両社に有意の差がなく共に痛みの度合いは低かった。臨床用ペンレスポリエステルテープ[®] は簡便であった。今後採血においては患者の痛みに対する緩和として有効な処置であり患者の軽減から積極的に応用すべきと考える。(東京形成歯科研究会倫理委員会承認番号 007)